

Machinery

機械

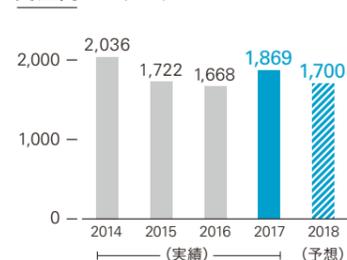


事業環境と実績

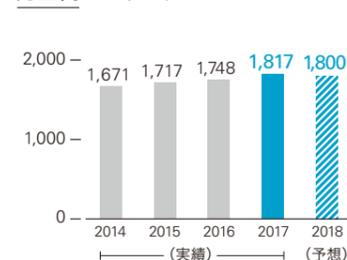
船用ディーゼル機関については、船腹の需給ギャップが解消されず、厳しい受注環境が続いていますが十分な工事量を確保しています。生産量は大型機関の生産比率が増えたことから146基/377万馬力となり、次期連結会計年度も388万馬力程度を予定しています。また、昨年度に引き続き、NOx(窒素酸化物)三次規制対応として排ガス再循環システムを装備した船用大型低速ディーゼル機関の採用が決定しています。産業機械については、原油価格は徐々に上昇しており石油精製関連設備である往復動圧縮機の引き合いは増加傾向にありますが厳しい受注環境が続いています。一方、軸流圧縮機や炉頂圧回収タービンについては国内製鉄所から受注し、現在、需要が旺盛なインド向けの案件に注力しています。運搬機については、東南アジアを中心に旺盛な需要があり、ベトナム向け大口案件などにより受注高は前連結会計年度から大きく増加しました。今後も堅調な需要が見込まれることから、需要地に近いインドネシアにコンテナクレーン製造子会社を設立しました。これにより、製造コストだけでなく、輸送コストも削減し、競争力強化を図っていきます。社会インフラについては、スリランカ向け高架橋や、国内向け

では大型鉄構構造物(沈埋函)や熊本地震で損傷を受けた橋梁の復旧工事などにより受注高・売上高とも前連結会計年度から大きく増加しました。現在、国内案件では高速道路の更新工事(床版取替等)などの保全案件の比率が増加していることから、今後ともこの分野に注力していきます。アフターサービスを中心としたLSS事業(製品ライフサイクル対応型事業および顧客問題解決型事業)については、海運市況が緩やかな回復傾向にあること、また、クレーンの新設増加にともなう移設・撤去・解体工事や安定稼働に向けた改修工事などにより、受注高・売上高とも前連結会計年度から増加しました。受注高は、船用ディーゼル機関、コンテナクレーン、橋梁、港湾関連構造物、各種産業用機械およびアフターサービス事業などにより、前連結会計年度と比べて200億41百万円増加(+12.0%)の1,868億70百万円となりました。売上高は、これらの製品・事業により前連結会計年度と比べて68億86百万円増加(+3.9%)の1,817億33百万円となり、営業利益は、前連結会計年度と比べて33億77百万円減少(△22.9%)の113億94百万円となりました。

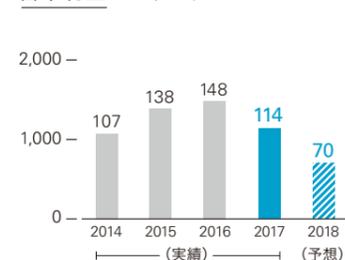
受注高 (億円/年度)



売上高 (億円/年度)



営業利益 (億円/年度)



Our Action 変革への取り組み

Our Action 包括的協業契約により新たな製品ポートフォリオを提供

● MAN Energy Solutionsとの協業を拡大

2017年5月、MAN Energy Solutions SE (MAN-ES、旧MAN Diesel&Turbo SE)との協力関係の更なる強化のため、包括的協業契約を締結しました。当社とMAN Energy Solutionsは、当社の中核事業である船用低速ディーゼルエンジンにおいてほぼ一世紀にわたり、更に近年では陸上発電プラント向け低中速ディーゼルエンジンなどの分野においても良好な協力関係を築いてきました。今回の合意により、両社のこれまでの協力関係の強化のみならず、蒸気タービンや圧縮機など新たな分野にも協業を拡大させていきます。



Our Action 海外生産拠点確立による運搬機事業の更なる強化・拡大

● インドネシアにコンテナ荷役用クレーンの製造会社を設立

2017年10月、運搬機事業の更なる拡大・強化のためインドネシアにコンテナ荷役用クレーンを製造する子会社「PT. MES Machinery Indonesia」を設立しました。2015年に大分事業所運搬機工場の主力製品であるポーテーナの生産能力を22基/年から36基/年に増強しました。しかし、旺盛な需要に対応するためには、更なる生産能力の拡大が必要と判断し、今回の新会社設立にいたしました。生産能力は、ポーテーナ4基、トランスターナ30基/年規模になる予定です。



PT. MES Machinery Indonesia

Our Action 先進的なアフターサービスの提供

● 当社グループ初 船用主機関の20年間長期メンテナンス契約を締結

2017年9月、子会社の三造テクノサービス(株)は、MOL LNG Transport (Europe) Ltd.と、同社の管理する三井 MAN B&W船用主機関(ディーゼルエンジン)を対象にした20年間の長期メンテナンス契約を締結し、サービスを開始しました。対象となる4隻にはCMAXS e-GICXSも搭載予定で、ビッグデータを活用した船内での異常診断および陸上での状態診断を自動で行い、主機関異常の早期発見、重大事故の未然防止に備えます。



LNG運搬船

Message 新事業会社社長より

船用ディーゼル機関、各種産業機械、運搬機、橋梁などの社会インフラ設備の製造のみならずアフターサービスにも力を入れ、ライフサイクル全体にわたりお客様に安心して、より経済的にご使用いただけるよう、サービスのご提案、ご提供に努めています。また、今急速に進むグローバル化、技術革新にも積極的に対応しています。運搬機の海外生産の開始、世界初のメタノールやエタンを燃料とする機関の市場投入などの環境に優しい二元燃料船用ディーゼル機関へのいち早い取り組み、ディーゼル機関の予防保全システム、水素ステーション向け圧縮機、自動化コンテナクレーン/ターミナル、橋梁/道路での保全事業などで多くの取り組みを行っています。「顧客の皆様の立場で考え、スピードを持って行動する」をモットーに、より信頼性、経済性の高い、環境に優しい製品、サービスを提供していきます。



株式会社三井E&Sマシナリー
代表取締役社長 岡 良一